

# 富士通健康保険組合の予算のご案内

2023年度は、保険料率(8.8%)を維持。収入は646億円を見込んでいます。

支出661億円のうち、保険給付費は、コロナウイルス関連医療費や出産育児一時金の増額の影響を一定程度見込み324億円。また、国の高齢者医療費を支えるための拠出金は、国から提示される負担率等に基づき計算した結果、支出全体の約39%となる257億円を見込んでいます。

## ■ 2023年度予算

予算総計：収入・支出ともに661億円（別途積立金繰入、予備費含む）

収入：646億円

高額医療交付金等 10億円

保険料 636億円

皆さまからの健康保険料（調整保険料含む）

※1

・被保険者数（2023年度予算）：96,471人にて試算

※1 収入不足に備えた予算（15億円）別途積立金を取り崩して賄う

支出：645億円

事務所費・営繕等 14億円  
財政調整事業拠出金 9億円

その他 23億円  
内訳

保険給付費 324億円（49%）

病院で支払う窓口負担以外（7割等）や、  
病気やケガ・出産時等の給付金

拠出金 257億円（39%）

全国の65歳以上の方の医療費を支えるため  
に国へ拠出

保健事業費  
41億円  
（6%）

※2  
その他  
（4%）

・被保険者一人あたり金額（年間支出予算）：685千円

※2 予備費 16億円(2%) 予算超過又は予算外の支出に充てる予備的予算

収支差引：+1億円

### << 富士通健保ビジョン >>

社員と家族のWell-being実現上重要な要素である  
「心と身体の健康」を創り出し、  
その取り組みの持続性を担保するとともに、  
社会と共有する

- 予防施策の充実<健康意識・行動の向上支援>
- 健康診断施策等の充実<早期発見・早期対応>
- 社員と家族の安心・安全を目指した健保基盤の充実

### 健保の保健事業について

健保ビジョンに基づき、さまざまな予防・健診施策、  
健康増進事業を行っています。  
～詳細は以下の各ページ等を参照ください～

- ・被保険者、配偶者、家族の健康診断や、健康相談  
事業等：TOP>[「健康診断・健康サポート」](#)
- ・宿泊施設等：TOP>[「保養所・契約保養所」](#)
- ・最新の情報：TOP>[「ニュース&トピックス」](#)



### 【今後の国の制度変更、方針等について】

#### 1. オンライン資格確認の推進とマイナンバーカードと健康保険証の一体化の加速

- ・オンライン資格確認の推進  
保険医療機関・薬局へオンライン資格確認の2023年4月より原則義務化を実施
- ・マイナンバーカードと健康保険証の一体化  
一体化を進め、2024年秋の健康保険証の廃止を目指す方針

#### 2. 出産育児一時金引き上げ〔2023年4月～〕

出産育児一時金増額（42万円→50万円）  
※産科医療補償制度非加入の医療機関で出産した場合は、40.8万円→48.8万円

#### 3. 前期高齢者負担金の報酬割り導入(2024年4月～)

拠出金のうち前期高齢者納付金（全国の65歳から74歳の高齢者医療費をささえる）について、  
各保険者の報酬水準に応じた支出を求める「報酬割」の仕組みの一部導入(1/3)が予定されています。  
報酬の高い健保組合は負担が大きくなる見込みです。